

本郷 図書だより

第 128 号 2026.03.01
本郷公民館発行
図書委員会編集
電話 46-1500

本郷図書館に委員選書の 特集コーナーを設置！

令和 7 年度は、図書委員会の新たな試みとして本郷図書館に特集コーナーづくりを行いました。委員会では図書との触れ合いが増える機会を作るため、年 2 回程度講座を開催しています。本年度は「テーブルで楽しむお抹茶」と「香道体験」を実施しましたが、この講座がさらに充実したものになるよう話し合った結果、講座と連動した委員選書のコーナーを作ることが決定しました。



見やすく陳列した
特集コーナー

コーナーづくりでは、テーマ設定や並べ方等について本郷図書館の司書にアドバイスをいただきました。テーマ決めでは、講座に関係する本だけでなく、知識や興味が広がるよう幅広い内容にしてはどうかとの提案から、お茶講座では「和風」、香道講座では「香り」をテーマにしました。また、一見テーマとの関係が分からないような本も並べることで、多様な魅力的なコーナーになるよう心がけました。

初めての試みでしたが、コーナーを目当てに来館された方がいたほか、特集を見た方が講座に参加する等、活動の成果を実感できました。今後も図書館・公民館が協力し合い、本に関わる楽しさを伝えられる企画ができればと思います。

委員が選んだ本を一部紹介！

「和風」

『二十四節気と七十二候の季節手帳』 山下景子
かわいらしいイラストで季節の食や花々などを紹介。「四季」では伝えきれない日本人の季節感を感じられる一冊。



「香り」

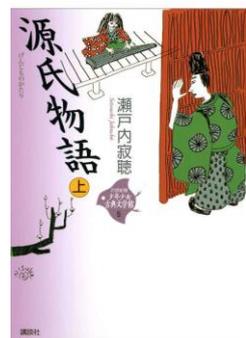
『11びきのねことあほうどり馬場のぼる』
ねこたちがつくる揚げたてコロッケ！ 頭の中においていにおいが広がります。



『うんちのふしぎ』

すがわらけいこ（絵）
くさくさいうんち、でもなんでも臭うの？ そんな疑問を解説してくれます。

○『源氏物語』瀬戸内寂聴（訳）
香道との関係も深い『源氏物語』。世界に誇る古典を瀬戸内寂聴が分かりやすく現代語訳。



宮下慶祐（本郷公民館主事）

やまぼうし

やまぼうしと聞いて思い浮かぶことは何だろう。童謡「雪やこんこん」に出てくるあれ？ いえいえそれは、わたぼうし。じゃあ、数珠をかけて山を歩いている人のこと？ そうねえ、それはやまぼうしよ。こんな会話が出てくることもあるでしょうか。

やまぼうしはハナミズキ科の植物で、源池の井戸の周辺や公園通り、本郷図書館の東側にも植栽されています。初夏には十字型の白い四枚花が咲き、秋には紅葉し、サッカーボールのような模様の小さな赤い実があります。この実はバナナやマングローのような南国の香りがし、食べると少し甘い。味の好みは千差万別ですので、その季節になったら食してみてください。

かがでしようか。子どもの頃の記憶が蘇ってくるかもしれない。大きな主張はしなくとも、高木になると辺りに木陰を作り、四季を通じて五感でも楽しめるこの植物は、私たちの身近にあって図書委員会の図書だよりのこのコラムのようにそつと寄り添う存在なのかも。

もうそこまで春が近づいてきています。重いコートを脱いで出かけてみませんか。
乾由理子（本郷公民館長）

◆本郷公民館図書委員会からお知らせ◆

図書委員会メンバーを募集しています

- 講演会の企画
 - 文化祭図書館除籍本リサイクルの開催
 - 図書だよりの発行
- 上記の他に年に数回の会議があります。本が好き、本に関わってみたいという方、お待ちしております。

（連絡先：本郷公民館 46-1500）

テラスの風

季節の変わり目ですね。体調管理に気を付けて、元気に過ごしましょう。

新村扶美代（図書委員）



どこか遠くへ出かけよう

～旅のプランは図書館で～

--□--

図書館の窓から見える
桜の枝先は少しずつ赤みを帯びて
大音寺山や御殿山には緑の気配👉
そよぐ風も暖かくなり
春の足音が聞こえるようです。

路面凍結に怯え
ぬくぬくとこたつに籠っていた
生活に少しの楽しみを♪

今年の旅の計画をはじめませんか？

--□--

『スーツケースの半分は』



近藤 史恵／著 祥伝社
旅行の数だけ鞆は傷
を増やしていきます。
経験や体験を重ねる
ことの大切さを伝え
てくれる一冊です。



旅の参考に♪

- ① 『世界の絶景パレット』永岡書店編集部 永岡書店
- ② 『日本の絶景パレット』永岡書店編集部 永岡書店
- ③ 『全国 恐竜めぐり』 G.B.
- ④ 『美術館へ行こう』伊藤まさこ/著 新潮社
- ⑤ 『地理女子が教える ご当地グルメの地理学』

尾形 希莉子/著 ベレ出版